

# 赤松集成材によるリビングボードの製作について

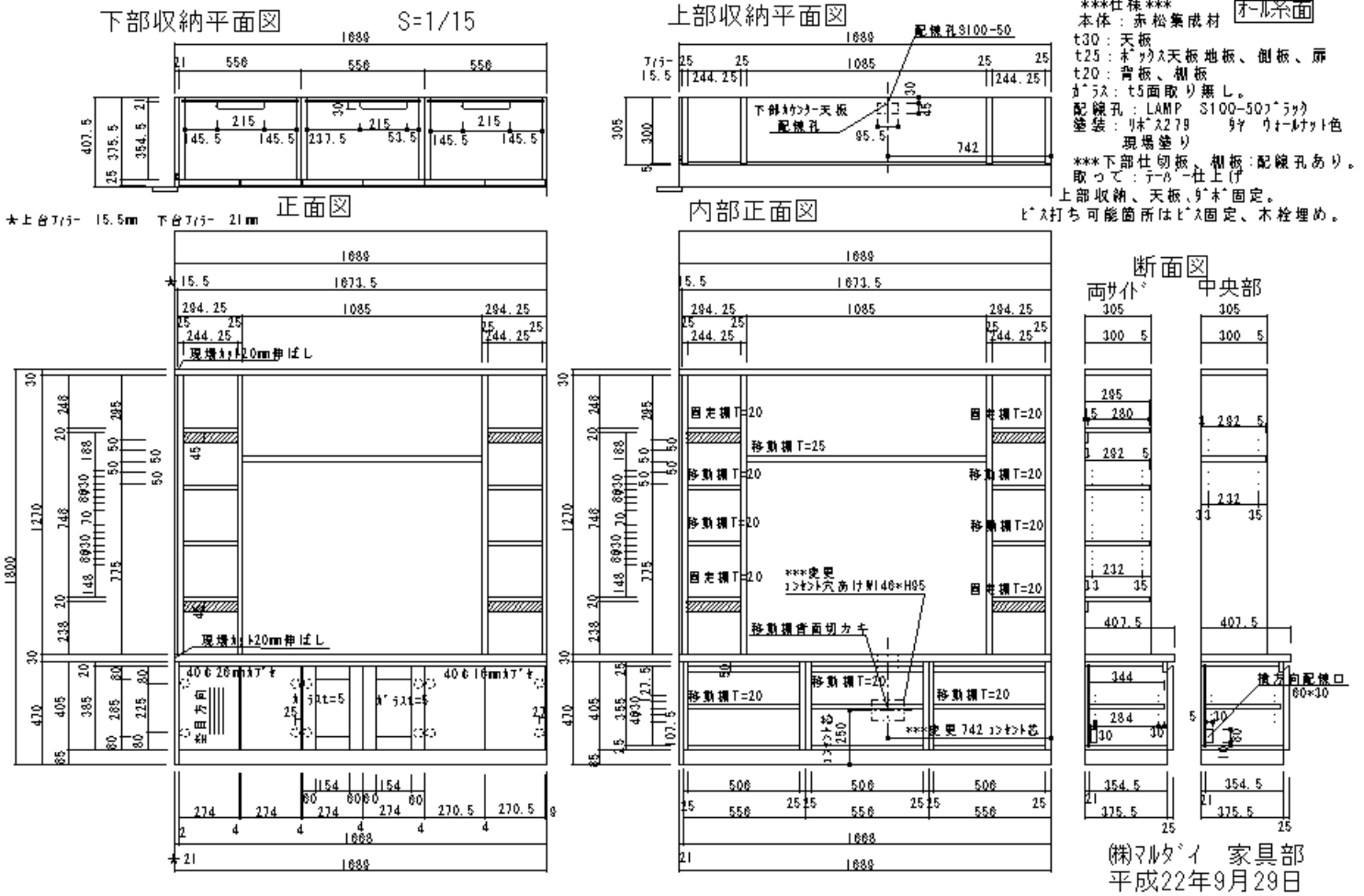
今回は健康住宅向けの家具として、合板、MDF等を使用しない無垢材に近いものでF\*\*\*\*認定されている赤松集成材にてリビングボードを製作することになりました。塗装は自然塗料のリボスを使用し、まわりはすべて塗り壁となります。(塗装は別途工事で、無塗装で取り付けました。)

この赤松集成材の使用方で天板：t30 扉、箱：t25 棚、背板:t20を使用します。本当は、t20の集成材にて扉、箱を製作したいところですが、扉が反るケースがあり、少しでも安全に考えますとt25の方がお勧めと思います。

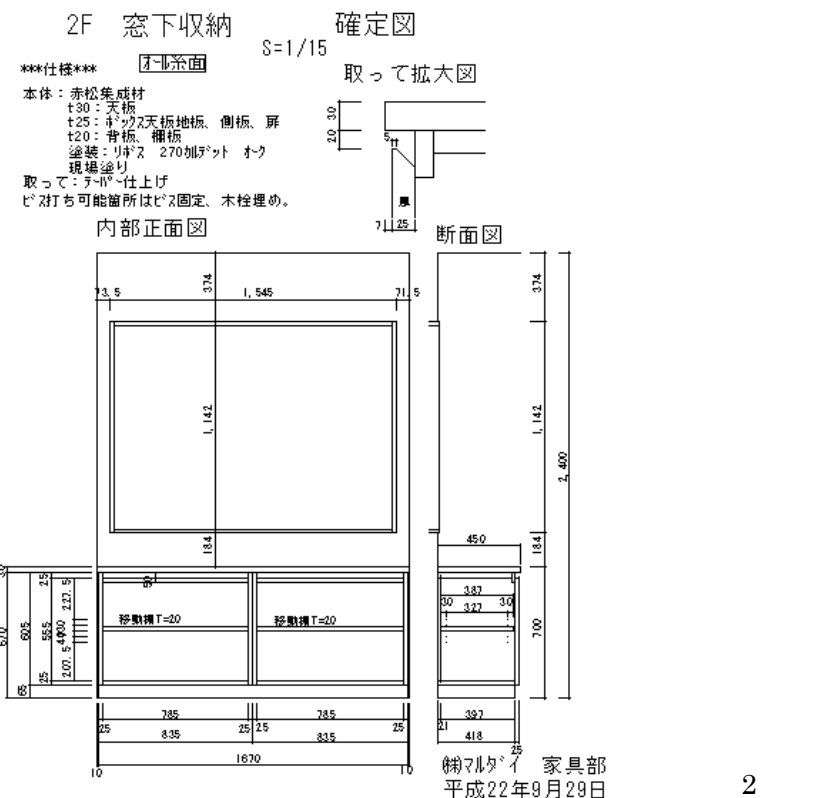
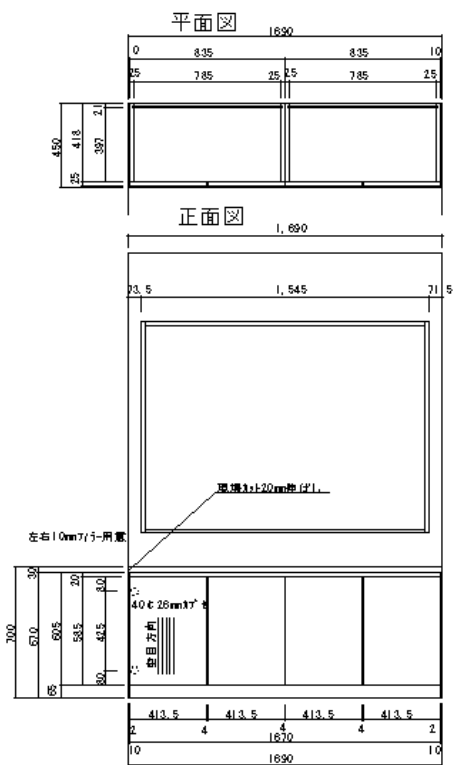
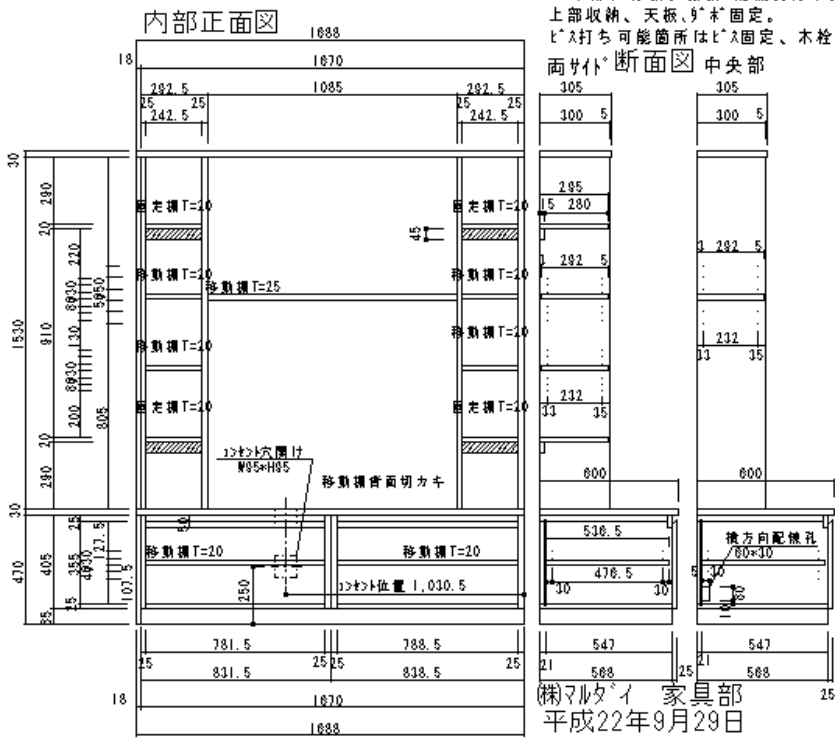
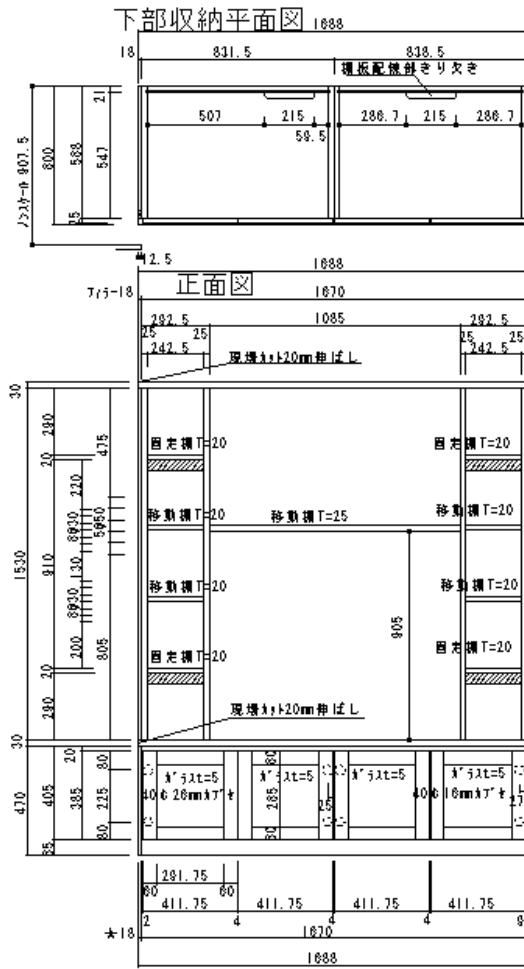
T25の使用により、蝶番のカップ径が大きくなり、何よりも箱が分厚くなります。大きな箱ならば気にならないところですが小さめの箱では分厚く感じられます。

## 1F リビングボード

### 1F リビングボード 確定図



## 2F リビングボード、窓下収納

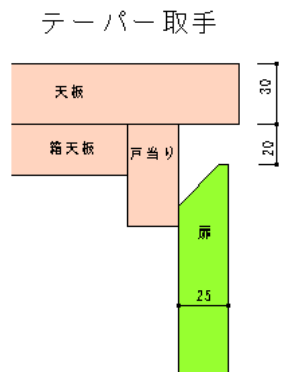


# 1F リビングボード

壁固定枠



カウンター下の箱の側板の合わせ部 50mm でちょっと厚く感じられます。  
可動棚については塗り壁のため、壁から 3 mm 逃げています。



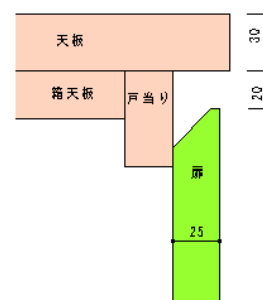
テーパー取手にして扉がよりフラットに見えます。

壁固定棧

## 2F リビングボード、窓下収納



テーパー取手



家具は自然塗料で色づけし、塗り壁が仕上がれば、家具がより映えて来るものと思います。

(株)マルダイ家具部 Da・Monde 鈴木

平成 22 年 11 月 22 日